

# むきぼんだ花だより 11月

2014. 11. 4

一部の植物には解説文を付記しました。

生物学的説明には青字で、それ以外は黒字で書いています。

「鴨泳ぐ遺跡の森の木漏れ日に」

もと



ツルアリドオシ

先端が4つに開いて漏斗状の小さな花を二つずつ茎頭に咲かせる。果実是一个つける。一両ともいわれる。



カラクチバナ

夏、白い花が咲く。雄しべは5個、雌しべは1個。百両ともいわれる。



シロミノマンリョウ



ヤブコウジ

十両ともいわれる。漢名は紫金牛、古名はヤマヂバナ(衣麻多知波奈) 地下茎を薬用にする。慢性気管支炎やぜん息に効能があるといわれている。



サネカズラ



サネカズラの実

この粘液で頭髪を整えたのでヒナカスラ(美男葛)の名前がついた。美人草の別名もある。種子は勾玉に似ている。



シロダモ



カクレミノ



ヒサカキ

サカキ(櫛)と同じよう神事に用いられる。東日本では野生のサカキがほとんど分布しないので、代わりに、ヒサカキ(姫櫛)



ツルリンドウ

味がリンゴに似ている。種子はキウイフルーツに似ている。



ツルリンドウの種





クロキ

日本海側での北限は鳥取県とされている。  
樹皮は黒褐色で、葉は互生し鋸歯がある。  
果実は黒く熟す。  
木灰は染色の媒染剤に使用されている。



フユイチゴ



コマユミ



ウド



シナアブラギリ



シナアブラギリの実

果皮に蠟を含み、松江藩はこの蠟から  
ろうソクを作り、財政を立て直した。

種子から取った油を紙にしみこませ、  
和傘や提灯用の油紙に使用された



イボタノキ

イボタノミシ(カガラムシの一種)が樹皮につき、  
白いイボタノハナができる。  
これを採取して熱湯で溶かすと、  
良質のワックス、イボタノミシがとれる。  
疣(イボ)を治すのに薬効があるといわれて、  
この木の名前になったといわれている。



ムラサキシキブ

名の由来は、鮮やかな紫色の果実を  
紫式部の名を借りて美化したもの。



ガマズミの花

## カレンダーの植物



ガマズミ

赤く熟した果実甘酸っぱく食べられる。  
野鳥も好んで食べる。  
果実の赤汁は、草木染や食品の  
着色料としても使われた。  
雪国ではかんじきを作る材料にされる。

### ★むきばんだを歩く会★

- 指導: 鷲見寛幸先生(鳥取県自然観察指導員)
- 毎月第1土曜日午前9時30分~正午
- 入会金 2000円 毎回資料代 300円 いつでも、どなたでも入会可能です
- 問い合わせ: むきばんだ応援団「むきばんだをあるく会」